

かわにし市議会だより

ホームページアドレス <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp>

平成16年(2004年)7月25日
NO.147

発行：川西市議会
編集：広報委員会
TEL 072-740-1255
FAX 072-740-1318

のじぎく兵庫国体 特設近代的弓道場新築工事請負契約の締結など審議 「地方分権の確立へ」真の三位一体改革実現を求め意見書提出



平成16年第4回定例市議会は、去る6月7日に招集され、25日に19日間の会期を終えました。
この定例市議会では、のじぎく兵庫国体に伴う特設近代的弓道場新築工事請負契約の締結案など、合計29の案件を審議しました。
また、本会議最終日には、「地方分権を確立するための真の三位一体改革実現を求める意見書」など、2件の意見書を全会一致で可決し、直ちに関係大臣等へ送付しました。

“弓道競技会場” 工事中の安全対策は

この6月定例会では、「のじぎく兵庫国体に伴う特設近代的弓道場新築工事請負契約」案件を審議しました。
新築する弓道場は、平成18年に開催される「のじぎく兵庫国体」、その前年開催の「リハーサル大会」における弓道競技会場となるもので、鉄骨造平屋建て、延べ床面積828.94㎡で、的を射る「射場棟」と的を置く「的

場棟」、それらをつなぐ「矢取り道」などからなっています。
審査に際しては、工事中の安全対策、施設設備の配置計画などのほか、会場周辺の整備についても質疑が交わされました。
川西市で開催される弓道競技はもとより、皆さんと一緒に盛大な「のじぎく兵庫国体」にしたいものです。
また、「川西市立幼稚園保育料

及び入園料徴収条例の一部改正案」も審議しました。
今回の改正は、5歳児1人当たりの保育料を現行の月額7000円から4歳児と同額の8000円に引き上げようとするもので、その審査に際しては、保育料引き上げの必要性をはじめ、4歳児と5歳児における受益の考え方などについて、活発な論議が交わされました。

6月定例会

第4回市議会（定例会）日程

- 第1日（6月7日）
○会期の決定
○決議案〔1件〕⇒表決
○平成15年度一般会計予算の繰越明許費繰越しなど〔4件〕⇒報告
○平成15年度老人保健事業特別会計補正予算など〔3議案〕⇒表決
○固定資産評価審査委員会委員の選任〔2議案〕⇒表決
○市功労者表彰〔7議案〕⇒表決
○のじぎく兵庫国体に伴う特設近代的弓道場新築工事請負契約の締結など〔8議案〕⇒市長提案説明
＜議案熟読＞
第2日（6月10日）
○のじぎく兵庫国体に伴う特設近代的弓道場新築工事請負契約の締結など〔8議案〕⇒質疑・委員会付託
○一般質問
第3日（6月11日）
○一般質問
第4日（6月14日）
○一般質問
＜常任委員会審査＞
第5日（6月25日）
○のじぎく兵庫国体に伴う特設近代的弓道場新築工事請負契約の締結など〔8議案〕⇒各委員長報告・質疑・討論・表決
○意見書案〔2件〕⇒表決
○請願〔1件〕⇒表決
○議会運営委員会委員の選任〔1議案〕⇒表決

みんなの市議会

No.53

このコーナーでは、市議会の機能や役割などを紹介するとともに、1年間にわたる議会の活動状況などをお知らせしています。
今回は、議会の主な働きについて、「権限」といった面から見ていきたいと思います。

市議会の権限

議会の働きなどを考える場合、議案を審議し決議する権限、いわゆる「議決権」については一般的に知られていますが、住民全体の代表である議会には他にも多くの権限を持っています。
それらの権限を内容面から見ると、次の五つに分類できるとされています。
①立法に関する権限
議会は住民全体の代表として、その意思を市政に反映していく使命を担っており、このような意味からも、市民生活と関わり深い条例を定めるなどの権限

は、特に重要です。
②財政に関する権限
議会には、地方公共団体が定める予算や決算などの審査を通じ、住民の意思が十分に市政に反映され、適正に運営されているかをチェックするとともに、予算についてこれを増額して議決する権限が与えられています。
③執行機関に対する監視的権限
議会は、長と対等の立場で、日々の行政運営に当たる執行機関が真に住民の信託に応えているか、あるいは、市政が適正に運営されているかについて、住

民に代わって監視することとされています。
④意見書提出権
議会は、地方公共団体の公益に関する事件につき、住民の代表機関として、国会または関係行政庁に意見書を提出することができます。
⑤自律権
議会が本来与えられている権限を他の機関から何ら影響を受けることなく行使していくために、議会運営や組織に関する規定を独自に定めていく権限が認められています。

以上、議会の権限を内容面から見てきたわけですが、市議会が、皆さんのための市政を実現していくために、今後とも、これらの権限を適時・適切に行使していく所存です。

議員から
暑中見舞いを出すことは、
公職選挙法で
禁止されています。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一般質問

要旨

企画政策

「自己評価に基づく自治体の組織運営評価」 “関西1位の川西市” 今後の改善点を聞く

議員 新聞報道によると、民間のシンクタンク（調査研究機関）が実施した「自己評価に基づく自治体の組織運営評価」において、川西市が、関西で1位、全国で9位という非常に高い評価を受けた。

この評価の内容や今後の改善点について伺いたい。

企画財政部長 今回の評価結果については、総合計画の策定、事業別予

算の導入のほか、決算成果報告（こころ街レポート）の作成など、これまで地道に取り組んできた行財政システムの改革が評価されたもので、大変、意義あるものと捉えている。

今後、このシステムをさらに進化させるとともに、先進市での取り組みなども参考にしながら、より一層質の高い行財政運営を実現していくことが必要であると認識している。

企画政策

コミュニティバス 運行できないか

議員 今日、高齢者の移動手段の確保や環境への配慮といった面からも、バス事業は、21世紀の持続可能な交通手段として、交通政策やまちづくり計画に位置づけられている。

気軽に病院や公共施設、買い物などに低額で利用できるコミュニティバス運行の考え方について伺いたい。

企画財政部長 コミュニティバス運行については、高齢者などの移動手段の確保といった面だけでなく、環境対策や地域の活性化にとっても重要な課題であると考えている。



コミュニティバスの導入については、具体的な対応策の検討を重ねており、近々にプロジェクト会議の開催を予定しているところである。

交通対策

後を絶たない不法駐輪 さらに効果的な取り組みを

議員 現在、本市でも不法駐輪の監視や撤去、さらには保管に多額の経費を要している。

こうした不法駐輪対策に経費をかけるのではなく、歩道スペースを活用するなど、たとえ有料になっても、市民が安心して駐輪できる場所の確保に力を入れるべきと考えるが、駐輪対策についての考え方を伺いたい。

土木部長 本市では、平野駅周辺区域などの3区域を自転車等放置禁止区域に指定しているが、大規模店舗や電車等を利用される際に、最寄りの駐輪場に空きスペースがあるにもかかわらず、店舗等の近くに駐輪さ

環境衛生

広域ごみ処理施設建設計画 進捗状況を聞く

議員 猪名川上流広域ごみ処理施設の建設については、一部事務組合に対し住民から監査請求がされたほか、豊能町と池田市の合併問題が浮上するなど、先行き不安な状態となっている。

この施設は、平成20年度の稼働予定とされているが、事業の推進状況について伺いたい。

美化推進部長 現在、環境影響評価

について、市の環境審査会で審査中であり、一部事務組合が都市計画決定の手続きを経て、関係省庁に国庫補助申請をされると聞いている。

また、建設予定地の用地については、全体の約84%が買収済みであり、残りの用地を買収し平成16年度内に造成工事に着手し、20年3月の完成を目指して事業を推進される予定である。

一般質問は、本会議第2日目と第3日目、第4日目の3日間にわたり行われ、14人の議員が、54項目について質問しました。
これらの質問のうち、14項目について、質問と答弁の要旨を掲載しました。
なお、要旨を掲載していない質問項目は、下段の「一般質問項目（掲載分を除く）」をご参照ください。

再開発

「中央北地区整備事業」 建物補償の目的などただす

議員 平成15年度、中央北地区整備事業において、建物補償をするための調査予算が執行されている。

この事業の補償目的や対象などの具体的内容について伺いたい。

理事 今回の建物補償は、北摂皮革協同組合からの要望を踏まえて推進しようとする「新たなまちづくり」の前段の事業として位置づけられるものであり、その内容は、建物、工

作物、機械類、立木等々に対して他の場所に移転させる費用を補償し、補償を受ける者が敷地を更地にするものである。

また、現営業者に対しては、皮革工場の廃業と生活基盤の喪失という生活再建の見地から補償を行うものであり、これらに係る実際の業務は市の都市整備公社に委託実施する予定としている。

教育

“インターネット・エチケット” 一層の指導求める

議員 佐世保市の小学生死亡事件は、インターネットのホームページ上でのやりとりが引き金になったとも言われている。

インターネット・エチケットについては、平成14年3月定例会の一般質問において、小学校のカリキュラ

ムに入れて指導していると答弁されたが、取り組みを一層進める必要があると考えるがどうか。

教育振興部長 本市でも、子供がホームページを作成したり、チャット（パソコン通信を利用した会話）を利用する割合が増えており、情報モラルの育成や、情報を主体的に判断し活用する力の育成が非常に重要であると認識している。

こうした中、各小学校では、情報教育担当者の研究会で「情報教育の指針」を作成し、指導などを行っている。

今後とも、家庭と連携しながら、情報モラルに関する啓発や指導をさらに進めていく考えである。

下水道

猪名川 銀橋周辺地域 今後の治水対策を問う

議員 猪名川の銀橋付近は、ビンの首のような地形をしており、約7年周期で浸水を繰り返している。

銀橋周辺地域での浸水対策は、本市の懸案事項でもあるが、今後の治水対策について伺いたい。

土木部長 銀橋周辺地域の浸水対策としては、河川整備計画を策定中の国土交通省に対し、地域からの強い要望でもある銀橋狭窄（すばまって狭い）部の開削について、市としても強く要望してきているところである。

また、市の対策事業としては、既に暫定的に整備を終えている鼓が滝バイパス管を、猪名川の水位に影響のない下流域までさらに延長する計画である。

今後とも、国の河川整備計画の早

期達成や、市の雨水整備事業の早期実施に向け努力していく考えである。



5 月		6 月		7 月	
11日	文教公企常任委員会行政視察（仙台市・遠征指導センター「見学の社」における不登校対策について）	4日	議会運営委員会	5日	議会運営委員会
12日	文教公企常任委員会行政視察（二本松市・選択制中学校給食について）	7日	第4回市議会定例会（招集日）	16日	広報委員会
13日	建設常任委員会行政視察（岡山市・岡山市協働のまちづくり条例についてなど）	10日	第4回市議会定例会（第2日）	23日	飛行場対策周辺整備調査特別委員会（平成16年度大阪国際空港騒音対策協議会運動方針（案）について）
14日	総務常任委員会行政視察（高知市・まちづくり一線にやろうや条例についてなど）	11日	第4回市議会定例会（第3日）		
17日	広域ごみ処理施設調査特別委員会（平成15年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合予算事故繰越繰越計算書報告についてなど）	14日	第4回市議会定例会（第4日）		
18日	建設常任委員会行政視察（武蔵野市・コミュニティバス（ムバス）について）	15日	総務常任委員会		
19日	建設常任委員会行政視察（渋谷区・コミュニティバス（ハチ公バス）について）	16日	文教公企常任委員会		
20日	厚生経済常任委員会行政視察（我孫子市・児童虐待防止についてなど）	17日	厚生経済常任委員会		
21日	厚生経済常任委員会行政視察（豊島区・産後サポーター制度についてなど）	18日	建設常任委員会		
31日	議会運営委員会	25日	第4回市議会定例会（最終日）		
	広報委員会		議会運営委員会		

村上祐章議員に対する議員 辞職勧告決議（要旨）

伊丹区検察庁は、5月20日、村上祐章議員を業務上過失致傷及び道路交通違反の罪で伊丹簡易裁判所に略式起訴した。同裁判所は罰金40万円の支払いを命じ、同議員は既に罰金を納付したとのことである。

当市議会は、改めて同議員に議員辞職を促したが、さらに議員の職にとどまるとしてあり、公職者として許し難く、同議員に対し極めて強い憤りを覚える。また、市民の信頼感を大きく損なわせた責任など、議員の職を辞すべき必然性はさらに強まったと言える。

よって当市議会は、改めて、村上祐章議員の議員辞職を強く求める。

地方分権を確立するための 真の三位一体改革実現 を求める意見書（要旨）

国の平成16年度予算では、三位一体改革の名の下に、地方交付税等の大幅削減が行われた。

地方への本格的な税源移譲を先送りし、地方一般財源の削減を突出させるかたちで、地方自治体の行財政運営に致命的な打撃を与えたことは、誠に遺憾である。

よって当市議会は、国が、地方交付税の持つ税源調達及び財源調整機能を堅持し、その所要総額を確保するとともに、平成17年度に3兆円規模の税源移譲を行い、国庫補助負担金に代わって負担軽減をしないよう、地方分権の理念に基づき真の改革を進められるよう、強く要望する。

義務教育費国庫負担 制度の堅持を求める 意見書（要旨）

義務教育費国庫負担制度は、義務教育を受ける権利を等しく保障し、教育水準の維持向上を期するための制度であり、現行教育制度の根幹をなすものである。しかし、国の来年度の予算編成では、学校事務職員、栄養職員及び加配教職員を先行して一般財源化しようとしている。

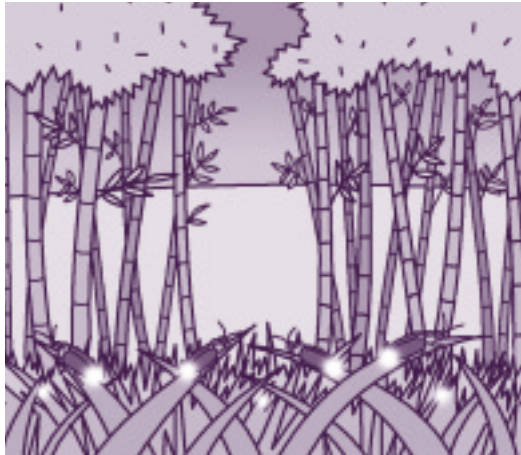
この措置は、学校事務職員等の存立基盤を危うくし、義務教育に関する国の義務を形骸化させ、さらには、地方自治体の財政などに多大な影響を及ぼすため、断じて容認できない。よって当市議会は、現行の義務教育費国庫負担制度を堅持するなどの措置を講ずるよう、強く要望する。

本会議・委員会開催状況

環境保全

加茂地区のヒメボタル 保全に向けた考え方を示せ

議員 加茂地区に生息するヒメボタルは、年々、出現率が減少してきており、何らかの対策を講じなければ取り返しのつかない事態を招く可能



性があると、専門家も指摘している。

ヒメボタルの科学的な生態調査を行い、生息環境を保全するための制度をつくるなど、一歩踏み込んだ施策が必要と思うが、市の考え方を伺いたい。

市民生活部長 ヒメボタルの保護については、まず第一に、その生息地域が民有地であることから、地域の皆さんにどのような取り組みをしていただけかが重要である。

今後は、環境基本計画を策定する中で、自然環境と暮らしの調和といった観点から、ヒメボタルの保全についても前向きに検討していきたい。

都市整備

無電柱化への取組 市の取り組み方針は

議員 都市における無電柱化への取組みは、将来の都市計画や街の環境・安全面を考えると、極めて有用であり、他の自治体では、都市開発などに合わせて積極的に進められている。

今後の市の取り組み方針や、現在、県が推進している無電柱化推進計画との整合性などについて伺いたい。

土木部長 無電柱化は、都市景観を向上させるとともに、防災時における緊急輸送道路等の確保、バリアフリー化などの観点からも整備が求められており、本市では、川西能勢口駅周辺や県道川西篠山線の一部の歩道で無電柱化が完了している。

今後は、国道176号などの沿線4カ所で計画しており、これらについては、県策定の無電柱化推進計画に沿

いながら、道路改良事業や新たな事業実施に合わせて整備していきたい。

生活環境

大規模食料品スーパーの24時間営業 市の対応状況を示せ

議員 市内の大規模食料品スーパーが24時間営業の試行をされているが、深夜営業は、市民生活に大きな影響を及ぼすものと思われる。

大規模小売店舗立地法では、周辺地域の生活環境を保持するため、都道府県が市の意見を聴取しなければならないとされているが、対応状況について伺いたい。

市民生活部長 大規模小売店舗立地法の施行に伴い、庁内に関係各課で構成する「川西市大規模小売店舗立地法連絡会議」を設置し、届け出の

環境保全

“貴重な財産”里山を守る 条例制定の考えないか

議員 人と自然の営みが調和し維持されてきた本市の里山は、市民にとっても、かけがえのない貴重な財産である。

こうした里山を整備し活用するため、行政や市民、土地所有者、関係団体等の役割などを明らかにするとともに、環境保全、災害防止などをはじめ、里山の持つ多面的な機能を持続させていくための条例を制定する考えはないか。

市民生活部長 近年、里山への関心が高まる中で、他の自治体において

は、既に里山条例を制定し、次世代に引き継ぐための具体的な取り組みがなされていると聞き及んでいる。

本市としては、森林ボランティア団体のリーダー養成に一層力を入れるとともに、里山に対する理解をさらに深めていただくこととしており、条例制定の必要性は認識しているものの、現段階では、里山を愛する人をできるだけ増やしていくことが重要ではないかと考えている。

福祉

「小児救急電話相談」実施へ 本市の対応状況など聞く

議員 子供の急病に対する親の不安を解消するため、国の新しい補助事業として、県が主体となり、短縮電話番号「#8000」を使用する小児救急電話相談が実施されることとなっているが、実施時期や本市の対応状

況について伺いたい。

健康福祉部長 この事業は、夜間に小児科医師と看護師が電話で応対し、医療機関での受診の必要性や応急処置のアドバイスなどを行うもので、現在、県において、災害救急医療情報指令センターを拠点として、本年10月から実施すべく準備が進められている段階である。

本市では、事業開始時に消防や医療機関に情報を提供するとともに、広報紙やホームページなどの広報媒体を利用するほか、乳幼児健診などの母子保健事業の実施時にチラシを配付するなど、周知を図っていきたいと考えている。

安全対策

遊具 安全点検や整備のあり方 基本的な考え方を問う

議員 近年、遊具による子供のけがが問題となっている。

保育所や公園等に設置されている遊具の点検実施の考え方や、今後の整備方針について伺いたい。

健康福祉部長 保育所の遊具は、職員が日常的に確認するほか、月に一度の安全点検を実施し、危険個所の改修をしている。危険遊具の情報収集に努め、市立保育所以外にも発信するなど、事故の防止に努めている。

今後は、専門家による適切な修理・点検を実施するとともに、乳幼児に配慮した遊具や肌に優しい木製遊具なども導入するよう努力したい。

土木部長 公園施設の点検については、シルバー人材センターによる年



3回の公園一斉点検、年末に市職員によるパトロールなどを実施しているほか、地域の自治会などに協力依頼し、遊具等に不具合があれば連絡いただくような体制を整えている。

今後とも、安全な遊具を計画的に設置していく考えである。

企画財政

導入する考えないか 「予算メリットシステム」

議員 本市では、平成16年度予算編成においては、全国でも先進的な「総額管理枠配分方式」が導入され、行財政改革に積極的に取り組まれているが、さらに予算執行の効率化を図るため、予算メリットシステム（予算の使い切りなどの行政体質是正のため、担当部署における予算執行上の経費削減努力や、増収努力を翌年度以降の予算編成に活かすなど）を導入する考えはないか。

企画財政部長 今日の厳しい行財政環境の中で、本市では、平成15年度予算において「枠配分予算編成」の手法を用い、さらに16年度予算から

は「総額管理枠配分方式」を導入してきている。

予算メリットシステムは、有効な手段であると認識しており、先進都市の状況等も参考に検討してきたが、各部署ごとの予算規模や事業の質により効果に差が生じたり、生み出される財源の活用次第では、市全体の政策の方向性と予算配分に隔たりが生じるなどの課題もあることから、当面は、現在の総額管理枠配分方式を運用する上で重要となる「政策的最適予算配分」のあり方などについて、さらに検討を深めていきたいと考えている。

受け取った陳情

- 小規模作業所運営補助金についてのお願い
- 義務教育諸学校の学校事務職員に対する義務教育費国庫負担制度堅持と定数配置基準の改善を求める意見書提出に関する陳情書
- 兵庫県重度心身障害者(児)医療費助成事業の現行制度での実施 他を求める陳情書

一般質問項目（掲載分を除く）

- 特定事業主としての川西市の次世代育成支援行動計画について
- 市民生活部の5室11課の課題について
- 土日の開庁又は各証明書自動交付機システムの導入について
- 風力発電システムの導入について
- 公文書の性別記載欄について
- 高齢者などの外出支援に向けたコミュニティバス検討委員会の設置について
- 各部における組織ミッションの設定について
- 次世代育成支援行動計画策定における基本方針と市民参画の考えについて
- 乳癌検診について
- パワーリハビリテーション事業の実施について

- 公立保育所の老朽化対策について
- 国保事業充実強化推進運動について
- 高齢者などの外出支援へ向けた福祉型軽自動車の活用について
- 認可保育園への指導・援助について
- 猪名川上流広域ごみ処理施設建設における豊能町と池田市の合併問題について
- 粗大ごみ有料化方針について
- 広域ごみ処理に対する市の姿勢について
- 都市再生部と都市住宅部が一本化され、まちづくり部に再編された経緯について
- 南部地域における緑地保全の方向性と「老幼融合」への取り組みについて
- 南部地域で歩いて買物ができる店舗の設置について

- JR川西池田・JR北伊丹駅周辺のバリアフリー化について
- 中央北地区整備事業における「建物補償調査」結果について
- 建物補償費支払い後の土地利用の権利について
- 建物補償費の支払いと営業停止について
- 今後の中央北地区整備事業計画について
- 批判的に情報を選択できる教育について
- 社会教育から生涯学習に変わってきた経緯について
- 「学校校区審議会」の答申を受けての教育委員会の方針について
- 通学路の安全確保について
- 多田東小学校の増改築の考え方について

- 中学校校内への携帯電話の持ち込みについて
- 校区の問題点について
- 校区外通学の5%自由化枠と園区の自由化に対する考えについて
- 全校区通学路の安全対策について
- 児童・生徒の教育環境悪化に手を貸すSR作戦について
- 組合活動への教職員参加に対する札幌高等裁判所及び横浜地方裁判所判決の受け止め方について
- 前年度の教育研究集会の勤務の取り扱いとその他の勤務中の組合活動について
- 美山台・丸山台の北陵校区への中学校建設の見通しについて
- 水道行政の今後の課題について
- 「女性専門外来」を市立川西病院に設置する考えについて

一般質問発言議員（発言順）

- | | |
|----|-----|
| 向井 | 陽子 |
| 黒田 | 靖敏 |
| 角谷 | 悠子 |
| 安田 | 忠司 |
| 土谷 | 一郎 |
| 菅原 | 巖 |
| 北上 | 哲仁 |
| 梶田 | 忠勝 |
| 岩田 | 秀雄 |
| 越田 | 謙治郎 |
| 住田 | 由之輔 |
| 倉谷 | 八千子 |
| 黒田 | 美智 |
| 大谷 | 真智子 |

常任委員会報告

今期定例会の常任委員会で審査された議案は、総務委員会 2 件、文教公企委員会 2 件、建設委員会 3 件、総務・厚生経済・建設の三つの委員会に分割付託された補正予算案 1 件の計 8 件です。
 ここでは、各委員会の審査における質疑などの一部について、その要旨を掲載しています。

「特設近的弓道場」新築工事請負契約を審議 消防団員退職報奨金支給条例の一部改正も 総務常任委員会

■のじぎく兵庫国体に伴う特設近的弓道場新築工事請負契約の締結について

本案は、平成18年に川西市で開催される「のじぎく兵庫国体」と、その前年に開催される「リハーサル大会」において、弓道競技会場となる特設近的弓道場を、火打 1 丁目地内に建設する工事請負契約を締結しようとするものである。

問 この工事場所への工事車両の進入については、当該場所の西側に位置する県道川西篠山線の五差路を利用するか、あるいは、新しい道路を建設する以外に方法はないと思われるが、工事車両の進入路はどのように確保する考えか。

答 工事車両の進入については、県道川西篠山線の五差路を予

定している。

この五差路については、工事車両が右折すると非常に危険であることから、左折のみの通行で対応したいと考えている。

■川西市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、「消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令」の一部改正に伴い、消防団員の処遇改善を図るため、階級や勤務年数に応じた退職報償金の支給額を、勤務年数 5 年以上10年未満の団員で現行 14万2000円から14万4000円に、勤務年数30年以上の団長で現行92万7000円から92万9000円にするなど、各区分ごとに2000円ずつ引き上げようとするものである。

問 勤続年数30年以上の階級別の消防団員数について伺いたい。

答 消防団在職30年以上の団員数は、4 月 1 日現在、20名となっており、その内訳は、団長・副団長が 1 名ずつ、副分団長・部長・班長が 2 名ずつ、団員が12名となっている。

一般会計（市民活動費）補正予算を可決 コミュニティ関連経費の追加 厚生経済常任委員会

■平成16年度川西市一般会計補正予算（第 1 回）〈分割付託〉

今回の補正は、財団法人自治総合センターが毎年実施しているコミュニティ助成事業に関して、東谷小学校区コミュニティ推進協議会を対象

とする事業実施を申請していたところ、平成16年 4 月 1 日付で一般コミュニティ助成事業として採択されたことから、当該協議会への助成金 250万円を追加しようとするものである。

永年勤続表彰

5 月25日に開催された「第80回全国市議会議長会定期総会」において、本市から次の議員が表彰されました。
 これを受け、6 月 7 日の第 4 回市議会定例会招集日に、議長から表彰の報告が行われました。
 20年表彰 辻 優

審 議 案 件		
■全員賛成■ 〈条例の一部改正〉 ○川西市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例（総務） 〈補正予算〉 ○平成16年度川西市一般会計第 1 回補正（総務・厚生経済・建設） ○平成16年度川西市下水道事業特別会計第 1 回補正（建設） 〈その他〉 ○専決報告 平成15年度川西市老人保健事業特別会計第 4 回補正 ○専決報告 平成16年度川西市国民健康保険事業特別会計第 1 回補正 ○専決報告 平成16年度川西市老	人保健事業特別会計第 1 回補正 ○固定資産評価審査委員会委員の選任＝ 2 件 ○市功労者表彰＝ 7 件 ○のじぎく兵庫国体に伴う特設近的弓道場新築工事請負契約の締結（総務） ○市立明峰中学校校舎大規模改造工事請負契約の締結（文教公企） ○損害賠償請求調停事件の調停の成立（建設） ○議会運営委員会委員の選任 ■賛成多数■ 〈条例の一部改正〉 ○川西市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例（文教公企）	〈その他〉 ○土地の売払い（建設）
		【請 願】 ■採 択■ ○『義務教育費国庫負担制度の堅持』を求める請願書 【市長からの報告】 ○平成15年度川西市一般会計予算の繰越明許費繰越し ○平成15年度川西市一般会計予算の事故繰越し ○平成15年度川西市下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越し ○平成15年度川西市下水道事業特別会計予算の事故繰越し 【注】 （ ）は付託された委員会です。

幼稚園 保育料・入園料徴収条例を改正 「5 歳児保育料」月額7000円から8000円へ 文教公企常任委員会

■川西市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、川西市立幼稚園の 5 歳児の保育料を、1 人につき月額7000円から8000円に改定しようとするものである。

問 5 歳児の保育料については、12年度5200円であったが、13年度と14年度に段階的に引き上げられ、今回、4 歳児と同額の8000円にしようとしているが、4 歳児と 5 歳児を同額にする考え方を伺いたい。

答 保育料を改定する主な理由は、5 歳児と 4 歳児の受益者負担率を区別する特別な理由がなく、近隣他市でも、そのほとんどが同一保育料を徴収していることなどを考慮し、5 歳児と 4 歳児の保育料を同額にしようとするものである。

◇ ◇ ◇

反対意見 行政改革の名の下に保育料を値上げすることは、子育て中の世代にとって大きな負担となることなどから、本案には賛成できない。

賛成意見 4 歳児と 5 歳児の保育料の格差を是正することは一定理解するものの、今後、段階的に保育料の値



土地（中央北地区整備用地）の売払いで論議 都市整備公社へ売却する考え方など 建設常任委員会

■土地の売払いについて

本案は、火打 1 丁目地内の公有地 1 万8960.95㎡を、中央北地区整備事業に参画する財団法人川西市都市整備公社に売り払い価額48億6973万 8000円で売却するものである。

問 中央北地区整備事業に係る土地を都市整備公社に売却する基本的な考え方を伺いたい。

答 今回の売り払いについては、まず第一に、川西能勢口駅周辺の市街地再開発事業が同整備公社の事業目的に合致していること、さらには、今後の資金調達や将来的な展望などを考えた場合に、都市整備公社に事業参画していただく方が助成上の特典などがあることから、今回、当該土地を同整備公社へ売却しようとするものである。

今後、中央北地区整備事業の推進については、都市整備公社を中心にしていきたいと考えている。

◇ ◇ ◇

反対意見 市は、地元の事業者や労

上げをすることのないよう要望し、本案に賛成する。

■市立明峰中学校校舎大規模改造工事請負契約の締結について

本案は、市立明峰中学校北校舎の老朽化に伴い、同校舎の大規模改造と耐震補強を行う工事請負契約を締結しようとするものである。

問 今回、阪神・淡路大震災級の地震にも耐えられるように「耐震スリット」を設置されようとしているが、その構造や機能等について伺いたい。

答 地震の力が加わった建物の壁は、柱を破壊する恐れがある。

耐震スリットは、柱と壁の間にすき間を入れることにより柱に粘りを持たせ、地震の力を吸収することで建物の耐震性を高めるものである。

働者などに当該事業計画についての説明責任を果たしておらず、また、開発を進めるに当たり市民の意見も採り入れていない状況の中で、都市整備公社に土地を売却しようとしている。これにより、今まで市が投じてきた費用や、今後の事業費の流れなどが不透明になる恐れもあることなどから、本案には賛成できない。

■平成16年度川西市下水道事業特別会計補正予算（第 1 回）

本案は、国の地方債許可方針において、新たに平成16年度から許可されることとなった「資本費平準化債（世代間の負担の公平化を図るとともに、下水道事業債の元金償還期間 25年と、下水処理施設の減価償却期間50年との差によって生じる資金不足を補うために発行する地方債）」を活用することに伴い、下水道会計で発行する市債に 6 億8000万円を追加し、一般会計繰入金と同額減額しようとするものである。

傍聴にお越しください

川西市議会では、本会議はもとより、議会運営委員会をはじめ、常任・特別委員会など、すべての会議を公開しています。
 これらの会議では、皆さんの日常生活に関わりの深い重要な事柄が審議・審査されています。市の方針や議会活動を知るよい機会ともなりますので、ぜひ傍聴にお越しくください。
 なお、次の定例会は、9 月上旬頃から開かれる予定です。
 これらの会議の開催日程等については、市議会事務局（TEL：740-1255）にお問い合わせいただくか、市議会ホームページ（http://www.city.kawanishi.hyogo.jp）をご覧ください。